

2025年度「繊維寺子屋“観て・触って・考える・体験塾”のご案内

主催：一般社団法人 日本繊維技術士センター

後援：公益社団法人 日本技術士会繊維部会

1. 講座の趣旨

本講座は、各分野の専門技術士が登壇します。用意された素材原料や糸、布、製品などを実際に観て・触っていただく体験型の講座で、専門家が資料と実物を用いながら、そのプロセスや各生産現場の臨場感を踏まえて解説します。業務とは異なる立場で、素材・副資材・最終製品などへの相互理解を深め、違いや視点を改めて考えることに主眼を置いています。構成は素材編、アパレル編、現場見学編に加え、世界の繊維産業の現況やSDGs、脱炭素といった環境テーマの講義も盛り込み、繊維産業全体の繋がりを深く理解できます。業務への好奇心を深め、学びの楽しさを持ち帰っていただけることを目指します。尚、専門技術士の多様な経験や技術を知っていただくため、常に新たな発見がある場となるよう、本講座は定期的に講義内容を見直し、入れ替わる場合もあり、更新していきます。繊維業界へこれから入門される方はもちろん、経験をお持ちで視野を広げたい、学びを深めたい方にも最適な内容です。ご興味のある講義があれば、受講の機会を逃さぬよう、お早めのお申し込みをお勧めします。

2. 開催日&会場・・・各申し込みが10名未満の場合、締め切り後に開催不可の旨を早期ご案内します。

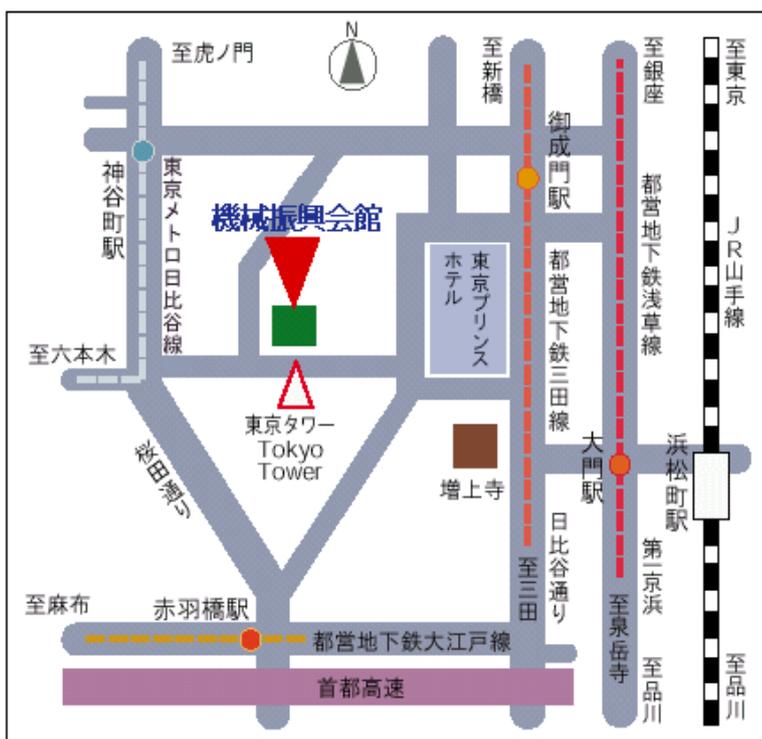
日程：Aコース（素材、布編）・・・2026年1月17日（土）・24日（土）の2日間

Bコース（アパレル編）・・・2026年2月7日（土）・2月14日（土）の2日間

* A・B会場：機械振興会館（東京タワー前）・・・お申込の方に別途、連絡します。

Cコース（現場見学編）・・・2026年2月21日（土）

* C会場：株式会社市原（東京都中央区）・・・お申し込みの方に別途、連絡します。



〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8

TEL：03-3434-8211

【公共交通機関】

- ①メトロ日比谷線・神谷町駅
徒歩8分
- ②都営地下鉄三田線・御成門駅
徒歩8分
- ③都営地下鉄大江戸線
赤羽橋駅 徒歩10分
- ④都営地下鉄大江戸線
大門駅 徒歩10分
- ⑤都営地下鉄浅草線 大門駅
徒歩10分
- ⑥JR 山手線。京浜東北線
浜松町駅 徒歩15分

3. 講座内容

オンラインでのご参加は承っておりません。

都合により、一部変更となる場合がございますがご了承ください。

		新規講義	一部改変				
A コース	A : 1/17 (土)	9:15~9:55 (40)	I. 繊維素材	天然繊維	綿	溝口 隆久	
		10:00~10:40 (40)			絹	向井 俊博	
		10:45~11:25 (40)			毛	岡部 孝之	
		11:30~12:10 (40)		化学繊維・ 再生繊維	キュプラ	實松 照剛	
		13:00~13:40 (40)			レーヨン/モダール	橋田 佳雅	
		13:45~14:25 (40)			リヨセル	橋田 佳雅	
		14:35~15:15 (40)		化学繊維・ 合成繊維	ポリエステル	新井 正志	
		15:20~16:00 (40)			ナイロン	奥 恭行	
		16:00~16:40 (40)			アクリル/モダクリル (アクリル系)	溝淵 敦史	
	A : 1/24 (土)	9:15~10:15 (60)	II. SDGs		繊維産業の環境課題	枝村 正芳	
		10:25~11:15 (50)	III. 動画解説	糸を紡ぐ	精紡機	里見 真一	
		12:15~13:15 (60)	IV. ワークショップ 生地見本帳作成	織物	平織解説・生地見本帳作成	尾上 正行	
		13:25~14:25 (60)			斜織・朱子織解説・生地見本帳作成	吉野 学	
		14:35~15:35 (60)		編物	たて編・丸編み解説・生地見本帳作成	金丸 亮二	
15:45~16:45 (60)		V. 風合い変化を知る	織物	生地：織機上がり⇒精練⇒仕上げ	杉山 和典		
B コース	B : 2/7 (土)	9:15~10:25 (70)	V. アパレル ものづくり	企画	デザインの発想から具現化まで 市場調査と着眼点	襟川 隆	
		10:35~11:35 (60)		生産・納品	アパレルの企画：生産計画から量産へ	枝村 正芳	
		11:45~12:25 (40)		素材検討	織物・生地比較観察と企画の違いを考察		
		13:25~14:25 (60)	VI. 副資材の個性	オルガン針 (株)	ミシン針の個性	三矢 麻衣	
		14:35~15:35 (60)			副資材_服飾資材の個性	目黒 陽子	
		15:45~16:45 (60)		(株)フジックス	ミシン糸の個性	伴野 統哉	
	B : 2/14 (土)	9:30~11:00 (90)	VII. よこ編の個性		編み目の特性/ホールガーメントの特性	樋之口 孝子	
		11:10~12:40 (90)	VIII. 裏地の個性	旭化成 (株)	裏地の個性	吉澤 知佐	
		13:30~14:30 (60)	IX. 各種検証 ワークショップ		ニット製品編 (カットソー除く)	樋之口孝子	
		14:40~15:40 (60)			パンツ編 (新・癖処理アイロン解説含)	枝村 正芳	
		15:50~16:50 (60)			生地企画の基本の考え方	石黒 順哉	
	C コース	C:2/21 (土)	10:00~12:30 (150)	X. 傘の個性	(株)市原	ミニ傘作り 素材や縫製特性なども解説	
			13:30~16:30 (120)	XI. 紳士小物雑貨		紳士小物雑貨の成り立ち 天然皮革特性の解説	

4. 各講義の内容

●A-1・素材に関する体験学習：

いくつかの繊維原料の特性をじっくりと解説しながら、原料から糸や布になる過程を、それぞれの素材を観て・触りながら考えます。

素材：綿、絹、毛、キュプラ、レーヨン、リヨセル、ポリエステル、ナイロン、アクリル

●A-2・環境に関する体験学習：

繊維産業に関わる方には最低限知っておいて欲しい環境問題について、今一度考えていただきます。特にSDGsや脱炭素に関係の深いマテリアルリサイクル、ケミカルリサイクルについても触れていき、繊維産業を取り巻く状況についても少し説明します。

●A-2・糸を紡ぐ・精紡機に関する体験学習：

糸に至るまでの生産プロセスの動画を観ながら、様々な着眼点で解説します。精紡機にもいくつかの種類がありますが、その特性や製品となった時の風合いなどの違いにも触れていただきます。

●A-2・布の生地見本帳作成：

①平織、②斜文織・朱子織、③たて編・丸編み：専門技術士の解説を受けて、様々な呼び名を持つ布の特徴を理解しながら、生地見本帳を台帳に生地片を貼っていただきますが、余白には皆さんの気づきなど追記し、オリジナル生地見本台帳を作成してください。

④生地仕上げ加工の工程による風合い変化の体験：糊や残留染料など除去などで生地洗浄し、その後仕上げ加工を行います。各工程ごとの風合いや手触りの変化などを観て・触りながら解説します。

●B-5・アパレルデザインの発想から具現化まで。市場調査と着眼点：

アパレル商品企画業務を様々な資料を用いて解説します。また、直近の市場調査を踏まえた着眼点にも触れていきます。

●B-5・アパレルブランドの生産計画から製造での着眼点及び生地企画検討の視点：

アパレル企画現場での着眼点についても触れながら、よりよいものづくりを考えていきます。そして、生地に関する企画検討についても説明します。

●B-6, 8・各種副資材の特性：

ミシン針、ファスナー他副資材、ミシン糸、裏地（二日目）について、専門技術者ならではの資料をご用意し、観て・触って特性を感じながら、より深く理解していただけるように解説します。

●B-7・カットソーではないヨコ編み：

ヨコ編みの各種編地特性について解説し、ホールガーメントの構造特性と技術力について説明します。

●B-9・ワークショップ（ニット・パンツ・生地企画）：

ニットでは、ヨコ編み各種以外にも、かぎ針編みやアフガン編みなど他の編地特性について解説し、そのうえでニットの製図の留意点など解説し、編地を観て・触って・考えます。

パンツでは背広下スラックス、スポーツウェア、チノパンツ、カーゴパンツ、ジーンズなど着用シーンなども異なるそれぞれの製品の特性を解説し、参加者で対話しながら売価の差となっている考え等も検証していきます。アイロン操作でのくせ処理とは何かも観て・触って・理解してもらいます。生地企画の基本の考え方では、生地企画書の見方を解説します。企画書に書かれた文字情報を理解することで、自分が求める生地の構成要素を具体的に考えていきます。

●C-10, 11・現場見学及び体験

繊維を使用している製品（繊維製品）では、いずれの場合も作りたい商品の特性を考え、優先すべき品質・担保すべき品質を考えていくことが大切です。今回は傘に着眼してみました。傘に使用する素材としてはどのような品質が最優先されるのか、撥水加工はどのようなのか、どのように縫製するのか、縫製では何が最優先に確認されるのか、実際のミニ傘作りを通して考えてみましょう。

午後はメンズ小物の基本となる各種雑貨に関して、それぞれの生い立ちと特性、あるいは使用されてきた本革では、動物の種類や加工法の違いなどを解説。衣料品などでは本革製品は非常に少なくなっていますが、メンズ小物を通してそれぞれの特性についても理解を深めていただきます。

5. 募集人員 及び 体験学習受講料等

	日程	体験塾開錠	受講料（税込） *JTCC・会員 10%off	募集 人員	申込期限 2026年	受講料 振込期限
Aコース (素材編)	1/17 1/24	機械振興会館 (東京都港区)	¥33,000 *29,700	50名	2026年 1/5(月)	2026年 1/7(月)
Bコース (アパレル編)	2/7 2/14	機械振興会館 (東京都港区)	¥33,000 *29,700	40名	2026年 1/23(金)	2026年 1/26(月)
Cコース (現場見学編)	2/21	(株)市原 (東京都中央区)	¥16,500 *14,850	10名	2026年 2/6(金)	2026年 2/9(月)

JTCC 会員及び賛助会員企業所属の方は、受講料は 10%off です。

※JTCC・インボイス制度適格請求書発行事業者登録番号：T3120905000427

6. 主催者&後援:

◆一般社団法人日本繊維技術士センター

国家資格である技術士（繊維部門）が、その専門能力を相互に継続研鑽し繊維産業の発展に寄与することを目的に活動している団体です。

◆公益社団法人日本技術士会

技術士制度の普及、啓発を図ることを目的とし、技術士法により明示されたわが国で唯一の技術士による社団法人です。技術士とは科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者の国家資格です。21 部門があり、当該講座はその中の繊維部門が担当しています。

7. 本講座開催に際し、ご支援・ご協賛・ご理解いただきました企業様のご紹介

企業様名	ホームページ
旭化成株式会社	https://www.asahi-kasei.com/jp/
旭編物株式会社	http://www.asahiamimono.jp/
株式会社市原	https://ichihara-1946.com
オルガン針株式会社	https://organ-needles.com
帝人フロンティア株式会社	https://www2.teijin-frontier.com
丸井織物株式会社	https://www.maruig.co.jp/
村田機械株式会社	https://www.muratec.jp/mt/business/domestic.html

8. 講師ご紹介

講師	プロフィール
溝口 隆久	元旭化成（株）／JTCC 理事、JTCC 関東支部支部長
有瀧 宗重	元東洋紡（株）／日本技術士会繊維部会長、JTCC 評議員、
新井 正志	（一財）工業所有権協力センター／JTCC 会員
石黒 順哉	（株）モンベル／JTCC 会員
枝村 正芳	（株）ワールド／JTCC 会員
岡部 孝之	元日本毛織（株）／JTCC 会員
奥 恭行	三菱製紙（株）／JTCC 会員
尾上 正行	元（地独）神奈川県産業技術センター／JTCC 執行役員、
金丸 亮二	元富山県産業技術開発センター／JTCC 会員
里見 眞一	村田機械（株）／JTCC 会員
實松 照剛	旭化成（株）／JTCC 会員
杉山 和典	AGC（株）／JTCC 会員
橋田 佳雅	モリリン（株）／JTCC 会員
伴野 統哉	（株）フジックス／JTCC 会員
樋之口 孝子	元ユニクロ（株）、元マックスマラーージャパン（株）／JTCC 執行役員、教育担当
溝淵 敦史	（株）カネカ／JTCC 会員
三矢 麻衣	オルガン針（株）／JTCC 会員
向井 俊博	元（地独）京都市産業技術研究所／JTCC 会員
目黒 陽子	YKK（株）／JTCC 会員
森 美景	（株）SHIFFON、元（株）フェニックス／JTCC 会員
吉澤 知佐	旭化成（株）／JTCC 会員
吉野 学	品川区地域産業振興課、元（地独）東京都立産業技術研究センター／JTCC 会員
襟川 隆	（有）也太奇代表取締役、元（株）ファイブ・フォックス、技術士補

※ 過去実施し、現在休止している講義

素材編	A①	素材から布まで動画解説（90） 現在準備動画：綿花から綿糸・布へ（精紡機・織機・編機（タテ編・ヨコ編・丸編）ホールガーメント）	同日講義の各素材ごとの講義時間20分より長くしてほしいとの要望を受け、動画講義を中止する。
	A②	ワークショップ／撥水加工のナゼ・ナニ（50）	はっ水剤規制も絡み中止
	A③	ワークショップ／よこ編解説・生地見本帳作成	
アパレル編	B①	各種ミシン縫い見構造と特性解説・見本帳作成	
	B②	ワークショップ／デニムのナゼ・ナニ（50）	デニムの歴史などを省略
	B③	製品検査の着眼点(30)	
	B④	接着縫製のポイント(30)	大阪・中止
	B⑤	接着芯の個性とシャツの接着芯（60）	大阪・中止
	B⑥	ワークショップ／スポーツ編（競技特性）(60)	大阪・中止

9. 申込先 及び 申込期限

- ① 末尾の申込用紙に記入後、PDF にして下記アドレスにメール添付で申込み
- ② JTCC ホームページよりお申し込み <https://www.jtcc.or.jp/>

連絡先：TEL：06-6484-6506 または E-mail：jtcc-kt@nifty.com

2025年「繊維寺子屋“観て・触って・考える・体験塾”関東会場の申込書

申込日		令和 年 月 日
氏名		
申し込みコースに○		Aコース：1/17（土）&1/24（土） ¥33,000（内消費税・10%）
		Bコース：2/7（土）&2/14（土） ¥33,000（内消費税・10%）
		Cコース：2/21（土） ¥16,500（内消費税・10%）
勤務先	会社名	
	部署	
	ご住所	〒
	電話	TEL： 携帯：
	e-mail	
ご自宅	ご住所	〒
	電話	TEL： 携帯：
	e-mail	
本講座で、学びたいこと、 知りたいこと、他		

申込書にご記載の個人情報は本講座に関する管理以外の目的には使用しません。

体験塾受講料のお支払方法：会場での現金授受は承っておりません。下記銀行口座へお振込みください。

振込口座・・・銀行名：三菱 UFJ 銀行 ・ 支店名：堀留支店(322)

口座番号：0106454

口座名：一般社団法人日本繊維技術士センター 関東教育

振込明細書をもって、領収書に代えさせていただきます。

受講料割引対象の方、請求書や領収書をご希望の方は、お申し込み時に別途、お申し出ください。 以上